

人が育つ場

社会福祉法人赤碕保育園では、現在、幼保連携型認定こども園「赤碕こども園」、子育て支援センター「アトリエ・ラボ」、放課後児童クラブ「しおかぜクラブ」を運営しています。それらに共通している理念は、自ら主体的に生き、環境と対話し、共に学び育つということです。それは具体的に言うならば、子どもや大人が物や人と関わり合い、主体的に学び発達することです。



理事長 福田泰雅

人の育ちは「こうすれば、こうなる」というシステムではありません。むしろ、ピンポンやテニスなどのように、受け取ったボールを相手に返し、そのボールがまた自分に戻ってくるような、やりとりの中で「物語が生まれる」ように行われます。そして、自分が感じたことや考えたことなどを表現し、他者との協同的な学びを展開します。一見すると回り道のようなこれらの生活が人として大切な基礎を育みます。

仲間や保育者だけでなく、保護者や地域の皆さんも子どもを中心とした学びの中で、それぞれ自分らしさを発揮して、互いに学び合える実践の場を理想としています。

人としての生き方を 支える組織の原理

教育・保育の目標

個人の自立と全人格的発達、他者との関係性の発達、家族と地域社会の支え合い、円滑な就学の保障を目標とする。

法人の理念

現在から未来に渡り、個人の自由と社会の自由を実現し、人生を自ら豊かに生きる人を育み、支援する。

教育・保育の理念

感性を基に、自ら学び表現する。瞬間を豊かに生きる子どもを育み、葛藤を乗り越え、互いを活かし合い、学び合う共同体を創造する。子どもと社会の願いを実現し、未来を切り開く力の基礎を培う。

教育・保育の目的

乳幼児の最善の利益を実現するため、生命を保持し、情緒の安定、身体的発達、情緒の発達、認知的発達などを図る。